

『変身 ～消えた少女と昆虫標本』

佐藤 いつ子 // 作 かない // 絵 文研出版



夏休みの終わり、萌子が失^{しっそう}踪した。彼女の父親が学校に持ってきたのは、正体がわからない虫の標本。萌子が姿を消す前に訪れていた神社には、昔、姿を変えられた人がいるという怪し

い噂^{うわさ}があった。一方、萌子を心配する友人のりおんは、家族との関係に悩み、自分のどうにもならない感情に困惑^{こんわく}していた。「知らなかった自分」に出会うひと夏の物語。



『ぼくへのレファレンス』

岩崎 まさえ // 作 黒須 高嶺 // 絵 国土社



体験学習で市民図書館にきたリョウ。貴重書庫で江戸時代の古文書を見せてもらった後、カウンターでポロポロの着物を着た不思議な男の子からメモを渡され、調べもの（レファレンス）を頼まれる。そして夏休み、リョウはクラスメートのミサキと図書館で知り合った郷土史研究家のおじいさんの運転で答えを求めて現地調査に向かう。

ス）を頼まれる。そして夏休み、リョウはクラスメートのミサキと図書館で知り合った郷土史研究家のおじいさんの運転で答えを求めて現地調査に向かう。

『四角い空のむこうへ』

由美村 嬉々 // 文 羽尻 利門 // 絵 晶文社



中学2年生の主人公は、生まれつきの筋肉の病気で、人工呼吸器と車いすの生活を送っている。ハンディキャップがあっても、いつか仕事につき、母親を楽しみにしたいと願う彼は、「気象予報士」にひそかなあこがれを抱いていた。それをした父親は、ある日、彼が寝^いている居間の天井に、天窗^{てんじょう}をつくる。そこから見える空の表情をながめながら、気象予報士になる夢をふくらませていくのだった…。



『ねがいの木』

岡田 淳 // 文 植田 真 // 絵 BL出版



夏休みにおばあさんの家にやってきた私。一本の木^{えが}を描くため雨が止むのを待っていると、おばあさんがねがい^{えが}をかなえる「ねがいの木」のお話をしてくれた。木は、ある時はきつねの願いをかなえ、ある時は若者の願いをかなえ、少女の想いも叶えた。でも、本当のお話はもっと素敵。

夏休みに すすめる本

5・6年生



★東金市マスコット
キャラクター

とっちー

発行 東金市立東金図書館
〒283-0068 東金市東岩崎 1-1
TEL 0475 (50) 1190

『さあ、めがねをかけよう!』

ヘレナ・ハラシュトヴァ // 作

アナ・コーベン // 絵 越智 典子 // 訳 偕成社



遠くが見えない近視の
ジョーと近くが見えない
遠視のキティ。ものを見る
しくみはとても複雑。だから
見えない理由もさまざま
まだ。でもめがねをかける
とくっきりはっきり、細かい
ところまでよく見える。目とめがねについてく
わしく書いてあるこの本を読んで、きみも自分の
気に入っためがねをかけよう!



『いまにヘレンがくる』

メアリー・ダウニング・ハーン // 作

もりうち すみこ // 訳 偕成社



母の再婚で、新たな父と妹
ヘザーと共に田舎に引っ越
してきたモリーとマイケル
姉弟。しかし、妹ヘザーは全
く姉弟になつかず、気に入ら
ないことがあると「いまにヘ
レンがくるから!」と言う。
妹が墓地の幽霊ヘレンにとりつかれているのを
知ったモリーは、数々の恐怖の中、必死にヘザー
を救おうとする。全米で読みつがれるホラー。

『きさらぎさんちは今日もお天気』

古都 こいと // 作 酒井 以 // 絵 Gakken



青葉の父は、ツボをおした
り鍼を打ったり、お灸をすえ
たりする鍼灸師です。思春期
の青葉は、においがつくから
と、自分のいる場所では「お
灸禁止!」と言っているの
に、のんきな父は今日も朝か
らお灸をされていて…。弟にたのまれた UFO さが
しやネコさがし、そして、父に教えられたツボお
しを通じてつながる家族の物語。

『知れば楽しいクモの世界』

～網のひみつと忍者のような能力!?～

馬場 友希 // 著 少年写真新聞社



見た目から多くの人が苦手と
感じるクモですが、実はほかの
昆虫を食べることで自然界の
バランスを保つなど、人や環境
にとって大事な役割を果たし
ています。体から出す糸を自由
自在に使って芸術的な網をつ
くったり空を飛ぶなど、クモの知られざる生態
や、ユニークな行動・暮らしぶりをわかりやすく
解説します。

『イグアノドンのツノはなぜきえた?』

～すがたをかえる恐竜たち～

ショーン・ルービン // 文・絵 千葉 茂樹 // 訳 岩崎書店



200年前、見たことも
ない大きな歯の化石が見
つかった。「イグアナの歯」
という意味のイグアノド
ンと名付けられ、クジラ
のような巨大なイグアナと
考えられていた。研究者た
ちが想像力をはたらかせ、新しい化石が発見され
るたびイグアノドンのすがたは変わっていった。
昔の研究者たちが考えた恐竜のすがたを見てみ
よう!



『木から家ができるまで 和室はすごい』

モリナガ ヨウ // 作 道江 紳一 // 監修 ほるぷ出版



和室は日本の伝統的な文
化のひとつ。畳や障子な
どには自然の材料を使っ
て、長い間につちかわれて
きた職人の技がこめられ
ています。木を切りだすと
ころから和室ができあが
るまでの様子が、絵本でわかりやすく描かれてい
ます。